

会 議 要 旨 録

会議名	令和2年度 第3回三郷市男女共同参画審議会
開催日時	令和2年11月19日(木) 10:00~11:30
開催場所	市役所6階 第1委員会室
出席者名	橋爪会長、稲毛副会長、金丸委員、大内委員、神永委員、恩田委員、 石崎委員、浅賀委員 (欠席:森委員、閑田委員)
傍聴者	なし
事務局	国枝人権・男女共同参画課長、豊田主幹、藤本主事
コンサルタント	(株)アイアールエス 主任研究員 牧野、研究員 義田
1.開 会 2.あいさつ 3.議 題 (1)(仮称)第5次みさと男女共同参画プラン(素案)について (2)その他 4 閉 会	
結 論	○6・9ページの体裁、段落設定の調整を行う。 ○11ページの体系図にページ数を追加するとともに、全体のレイアウト調整時にデザインの見直しを行う。 ○21ページの性の多様性に関するコラムについて、性的マイノリティ=LGBTという誤解のないように、表現の見直しを行う。 ○32 ページのグラフ「保育所園児数の推移」に待機児童数を追加する(あるいは別グラフにて掲載)。グラフ「放課後児童クラブ」については、定員数780人を担当課に再度確認後、グラフ内に定員数も併記するとともに、伝える意図を踏まえたうえで本文にも修正を行う。 ○34 あるいは 37 ページへの男性の育児休業取得に関する記述の追記について

	ては、庁内で調整の上、表現を検討する。 ○43 ページのグラフ「データに見るがん検診」については、平成 28 年度のデータを追加する。 ○45 ページの指標「健康寿命の延伸」に男性の健康寿命も掲載する。
審議内容 (1) 第5みさと男女共同参画プラン(素案)について ・第5次みさと男女共同参画プラン(素案)について事務局・コンサルタントから説明 ・質疑	
委員	文章の配置について、場所により文末が途中で改行されている等が散見される。また、P9「条例の基本理念」の(2)～(4)の文字の終わりが揃っていないため段落設定を調整してほしい。P11 の基本目標の囲み内の文章の入り方がまちまちであるが、これはこのままでよいのか。
コンサルタント	改行位置を修正する。P11 については、文章の区切りのよいところで改行している。事務局と相談しつつ、再度プラン全体を見直し整えたい。
事務局	レイアウト等については、今後文章の修正と合わせて調整させて頂く。P11 体系図については、列を揃えようとする単語の途中で切り替わってしまい、読みづらさが出てしまうため、単語の終わりや言葉の切り替えのよい場所で改行していることから、見た目としてはばらつきが出ている。間隔を調整するなどして体裁を整えることは今後行っていく予定である。
委員	P21 の性の多様性のコラムについて、「差別的な概念が取り払われること」という表現を削除することには賛成である。また、セクシュアルマイノリティ=LGBT だけではなく、性的指向と性自認の組み合わせにより多様であり、人によって異なることをどこかで触れて頂けるとよい。
コンサルタント	「同性を好きになったり・・・」以降の文章で表現したつもりであった。
委員	性的指向を持たないという人もいる。表現が非常に難しく、「性の多様性」ということに尽きるが、セクシュアルマイノリティ=LGBT ではなくセクシュアルマイノリティの中に LGBT も含まれるが、ほかにも多様な性のあり方が存在するという文章の方が、誤解が生じないのではないか。「パターンに当てはまらない人達は性的マイノリティと呼ばれています。」としても文章はつながる。それに続けて「LGBT とは、～の頭文字を取ったものです。」としてはどうか。今の表現だと高齢

	の方等が読んだときに誤解を招くのではないか。
コンサルタント	こうした表現は他の自治体でも使われている。
委員	LGBT に限定せず、それ以外の人もいるということが伝わるとよい。
委員	P11 の体系図について、内容が具体的に掲載されている頁数が目次のように載っていると体系的に見やすいのではないか。
事務局	頁数を追記する。
委員	P32 の放課後児童クラブのグラフから定員数の表記が削除され、本文についても、単純に児童数が減少しているような表現となっている。児童数が減少するのであれば、放課後児童クラブも減らしてよいのだという印象を与えるのではないか、表記の仕方で考え方に影響が出るように思う。現状、保育園の待機児童も多く存在し、その子ども達の学年が上がっていけば小学生になる。三郷中央駅周辺の学校ではかなりの生徒数となるなかで、このままでよいのかという懸念がある。ただ人数が減少しているという表現よりも、定員数との関係性を載せておいた方が今後検討する上でよいのではないか。
事務局	担当課へ確認したところ、定員数は 780 名であるということは経年的に変わっていない、とのことだった。定員数を標記するように修正する。
委員	市内の総児童数は少子化により長期的には減少すると考えられるが、総児童数に占める放課後児童クラブの利用児童の割合は増加しているのか。
事務局	三郷市はまだ子どもの数は減少していない。学齢期の子どもについても数年後に減少に転じる推計であったと記憶している。 ご指摘のとおり、中央地区の学校は定員に近い人数にはなっている。以前子どもが多かった地区は出生数が落ち着き、中央地区や新三郷エリアなど最近開発が進んだ地区が増えていることから、子どもの人数が多いエリアが以前とは変わってきている。総児童数は増加しているが、そのうちの放課後児童クラブ利用児童の割合は担当課に確認させて頂きたい。1 年生は利用していると思うが、学年が上がると帰宅したい意向を持つ児童もいることから、共働き家庭の子どもが必ずしも利用しているとは限らないと思われる。
委員	地域の子どもの持つ保護者と話す機会があるが、保育園には入れたが児童クラブは定員が少ないので心配だという声や児童クラブに入れなかったからお稽古事に通わせているという声もある。こういう話を伺うと、安心した生活が送れるの

	かという懸念を抱いてしまう。
委員	多くの児童クラブで定員数を超えて受け入れをしていると聞いている。増やせない理由として、指導者の確保が難しいという事がある。単純な数字だけでは測れない問題があると思う。
委員	以前のグラフは定員数が併記され、定員オーバーの状態にあるクラブがあるということが見えていた。定員を超えて児童を受け入れているクラブに通うことが子どもの育ちにとって良い環境なのかという大きな課題でもある。母親がフルタイムからパートタイムになるなど働き方を抑制することにもつながるなど、男女共同参画の視点から見ても影響がある。地域の子育ての課題は保育園だけではなく、小1の壁という問題も浮かび上がる。課題として市民に提示し、定員数も掲載した方がワークライフバランスや子育てにおける課題がわかりやすく、市民も意見が言いやすいのではないか。
事務局	前回資料では定員数も折れ線グラフとなっていたが、担当課に確認したところ、定員数はずっと 780 人ということであることから、グラフでは 780 のところに横線が入るような形になると思う。
委員	地域によって定員に余裕があるところと定員を超えて受け入れが必要なクラブがあるのだと思うが、認識の仕方が変わってくると思う。
委員	前回資料の 970 人などの人数は誤りであったということか。
コンサルタント	統計書に掲載の数値を使用していたが、担当課に確認する。
委員	ここに放課後児童クラブの児童数を掲載する主旨は、前回資料では共働き世帯の増加に環境が追いついていないということだったと思うが、児童数が減少しているという説明では、趣旨が伝わらないのではないか。
委員	保育園についても待機児童がいるのであれば、掲載するべきではないか。
事務局	待機児童数についても掲載する。保育所園児数については、園児数と待機児童数を経年で表示し、放課後児童クラブについては、定員数を担当課に確認後明記していくということによろしいか。
委員	P37 に「男性の育児休業の取得率」を入れて頂いたのは良いと思う。それを受けて、P37 の施策④あるいは、P34 の施策①にも「男性育休」のような文言が入るとよいと感じている。まだまだ、子育ては母親がするものというようなアンコンシャス・バイアスが強い地域柄を感じるため、積極的にアピールする取組を進め

	て頂きたい。
事務局	P37 の指標については、民間企業の数値までは把握が難しいため、市の男性職員の育休取得率とさせて頂くことを考えている。現状はまだ職員の意識の差が大きいと感じており、若い男性職員からは、「取得したいが、言い出しにくい雰囲気がある」という意見もあげられている。職場責任者からすれば、現在若い職員が多く、職員が産休・育休で長期離脱となるとその間の穴埋めが難しいという状況が発生し、打開策を探っている状況である。担当としては、男性が当たり前に育休を取るようになれば性別による差別のような考えが変わってくるため、男性も育休を取りたい方が取りやすい環境にしていきたいと思う一方で、現場は苦勞していることも理解している。男性育休の推進度合いについては、庁内の意見も聞きながら進めて参りたい。もう少し踏み込んだ表現をとのご意見については、内部で調整させて頂きたい。社会推進会議の中でも、職員の意見を紹介しながら取組自体は進めることで合意は取れている。
委員	来年度、男性の育児休業取得を義務付けるというように政府の方針が強化されると聞かすが、中小企業をどのように支援するかということも盛り込まれなければ難しいと今のご意見を受けて感じた。
事務局	P45 施策の方向2の数値目標で「健康寿命の延伸」については、女性のための掲載となっていたが、専門部会において性差による差が分かった方がよいのではないかと意見があったため、男性も表記する。
委員	P43 のがん検診のグラフ上のデータは平成 28 年度の数値が載っていない。
コンサルタント	追記する。
委員	先ほど、放課後児童クラブの児童数と定員数について多くの意見が出されていたが、定員を超えて受け入れしても児童クラブにも待機児童がいるということか。
事務局	さまざまな工夫をしながら、平成 31 年では 883 人の児童が利用しているということだと考える。
委員	子どもが帰る時間に家にいるために、正社員からパートタイムに変更するなど勤務形態を変えたという保護者もいる。
事務局	希望者が多いため、放課後児童クラブの指導員・職員、教室の確保等を調整し、できるだけ多くの方を受け入れることができるような体制を整えた結果、定数よりも多い受入人数になっているものと思われる。

委員	そうした状況がわかるような説明があってもよいと思う。
事務局	表記については、担当課と調整させて頂きたい。
会長	議題(1)について承認頂ける方は挙手をお願いしたい。
委員	全員挙手
会長	全員賛成で承認頂いた。
審議内容 (2)その他 ・ご意見を反映させて修正を行い、政策会議で承認後パブリックコメントの手続きを進める。 パブリックコメントは、12月下旬～1月を予定。 ・次回会議は令和3年2月頃を予定。 ・当日資料として「男女共同参画計画の数値目標」について事務局より説明。 ・質疑なし	
会長	以上で本日の議題の審議はすべて終了した。
【会議録署名】 令和 年 月 日 氏名 印 令和 年 月 日 氏名 印	